

事業評価書

補助事業名	塩屋地区排水路整備事業						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市字塩屋地内						
補助事業の成果の目標	<p>本事業区間は、住宅や畑が隣接しており、降雨量が多い時には雨水を処理しきれず、水路から溢れ出た水により浸食が発生しており、近隣住民の生活や農作物に被害が生じる可能性もあることから早急に整備をする必要がある。</p> <p>そのため、本事業により排水路を整備することにより浸食被害を防止し、近隣住民の生活環境の改善に寄与する。</p>						
補助事業の内容	調査設計業務（実施設計、用地測量、土地評価） 一式 用地購入 24.55㎡(4筆) 排水路整備工事 L=158m 磁気探査 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和4年度（繰越）						
事業費及び交付金額		令和3年度まで	令和4年度（繰越）				計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	11,568,282	29,631,800				41,200,082
	交付金額	11,022,000	27,304,000				38,326,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 降雨時においても周辺地域への浸食は確認されず、成果目標である地域住民の生活環境の改善に寄与した。</p> <p>【関係住民への周知の実施状況】 特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知する。 1) 市ホームページへ掲載 2) 市広報誌に掲載(R5.9月号)</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	本事業は完了しましたが、今後も地域住民の要望に応えながら他事業を実施していきたい。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	石川44号線排水路整備工事						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市石川曙地内						
補助事業の成果の目標	市道石川63号線終点と市道石川44号線の交差点箇所では異常降雨時に道路の冠水が生じるため、冠水対策の工事が必要である。そのため、本事業により排水路を整備することにより冠水被害を防止し、近隣住民の生活環境の改善に寄与する。						
補助事業の内容	整備工事（排水路）L=283.3m						
補助事業の始期及び終期	令和4年度（繰越）						
事業費及び交付金額		令和4年度 （繰越）					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	26,017,200					26,017,200
	交付金額	23,000,000					23,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 降雨時における周辺地域への冠水被害は確認されず、成果目標である冠水被害を防止し、近隣住民の生活環境の改善に寄与した。</p> <p>【関係住民への周知の実施状況】 特定防衛施設周辺整備交付金による事業である旨を以下のように周知を図った。 1) 市ホームページへ掲載 2) 市広報誌に掲載（R5.8月号）</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後、定期的に点検を行い排水路の維持管理を適切に行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	津堅島ヘリポート施設整備基本計画策定事業						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市津堅島						
補助事業の成果の目標	<p>津堅島にヘリポート施設を整備するために基本計画を策定する必要がある、当該事業を実施する。</p> <p>津堅島は、うるま市唯一の有人離島となっており、架橋はなく、島への行き来は、通常、船となる。</p> <p>津堅島には、地域住民に寄り添った沖縄県立中部病院附属の津堅診療所があるが、診療所では対応できない救急患者が発生した場合、日中帯は民間定期船や沖縄県ドクターヘリ、夜間帯は中城海上保安部の巡視艇を使用して、本島内の高次医療機関へ搬送している。</p> <p>ところが、天候不良や災害などの影響により、民間定期船や巡視艇が欠航又は出航不可の場合においては、住民等の急患搬送が困難な状況となっている。</p> <p>2021年に小笠原諸島の海底火山噴火の影響で発生した軽石は、津堅島にも漂着し、船舶による物資搬送や急患搬送に支障がでた。</p> <p>本事業は、津堅島にヘリポート施設を整備するための基本的な考え方をまとめた計画書を策定するものであり、計画書策定後に、ヘリポート施設整備を進めることで、天候不良や災害時などにおいても、津堅島の地域の実情に応じた急患搬送や物資輸送などの円滑化・複線化を図ることで、救急搬送・防災体制のより一層の強化と充実を図ることを目標とする。</p>						
補助事業の内容	基本計画 一式						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和5年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	8,800,000					8,800,000
	交付金額	8,800,000					8,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 地元住民等にアンケート調査を実施し、当該計画が津堅島の地域の実情を反映した計画書となっていることが確認できた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を以下の方法により住民への周知を行った。 1 市ホームページへ掲載済 2 市広報誌へ掲載済</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	基本計画策定事業は完了したが、今後も津堅島にヘリポート施設を整備をするための他の事業を実施していきたい。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	中学校机・椅子更新事業					
補助事業者名	うるま市長					
実施場所	うるま市地内					
補助事業の成果の目標	<p>うるま市では、児童生徒用机・椅子の老朽化が進んでおり、中学校においても老朽化が目立っている。</p> <p>本事業は、市内中学校を対象に、机・椅子更新をすることにより、生徒の学習意欲の向上を目的とする。</p> <p>なお、更新対象となった学年で比較的新しい机・椅子は、他学年の老朽化したものと交換をして活用をする。</p>					
補助事業の内容	生徒用机 717台 生徒用椅子 717脚					
補助事業の始期及び終期	令和5年度					
事業費及び交付金額		令和5年度				計
		円	円	円	円	円
	事業費	16,160,463				16,160,463
	交付金額	15,192,000				15,192,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 机・椅子更新後の変化について各学校へアンケート調査を実施したところ、以下の回答が得られたことから、本事業の成果を得られたと評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールにより端末を利用する際の使いづらい状況が改善され、スムーズに学習に取り組めるようになった。 ・古くなった机や椅子の破損部分でケガをしたり、服に引っかかたりということがなくなった。 ・高さが調整できて学習しやすくなった。 ・グループを作る際、高さが揃うので作業がしやすくなった。 ・机や椅子がグラグラせず、安定しており、集中して授業に取り組める環境になった。 <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 市ホームページ令和5年12月掲載 2) 広報誌令和5年12月号に掲載 3) 「令和5年度特定防衛施設周辺整備調整交付金」と記載したシールを貼付済</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した机・椅子を適切に管理していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	スクールバス購入事業					
補助事業者名	うるま市長					
実施場所	うるま市字川崎地内					
補助事業の成果の目標	<p>うるま市では、川崎小学校で使用している平成19年に導入した既存のスクールバスが老朽化しており、修繕することも増えている。</p> <p>本事業は、スクールバスを更新し、安定した運行を維持することにより、遠距離通学となっている児童生徒の安全・安心な登下校を確保することを目的とする。</p> <p>(R6年度)</p> <p style="padding-left: 20px;">年間利用回数：917回 年間故障回数：0回</p>					
補助事業の内容	スクールバス 1台					
補助事業の始期及び終期	令和5年度					
事業費及び交付金額		令和5年度				計
	事業費	円	円	円	円	円
	交付金額	16,129,690				16,129,690
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 スクールバス更新後の変化について学校へアンケート調査を実施したところ、以下の回答が得られたことから、本事業の成果を得られたと評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスのエンジントラブルがなくなり、安定的に登校・下校の送迎ができるようになった。 ・大雨による雨漏りがなくなり、安全・安心して児童が利用できるようになった。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市ホームページ令和6年7月掲載 2) 広報誌令和6年7月号に掲載 3) 「令和5年度 沖縄防衛局 調整交付金事業」及びエンブレムを車両に表示 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも児童生徒の安全・安心な登下校を確保するため、購入したスクールバスを適切に管理していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	石川図書館・歴史民俗資料館外壁等改修事業						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市石川曙地内						
補助事業の成果の目標	うるま市立石川図書館・歴史民俗資料館は建築から30年を経過し、台風や大雨時に外壁のヒビや窓回りからの雨漏りや、内壁クロスへのカビの発生が見られ、建具も劣化している。 本事業により、漏水等による図書資料や施設・設備の損傷を未然に防止し、長期的なコストの平準化を図るとともに、環境改善を図る。						
補助事業の内容	改修工事 外壁改修等 一式						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和5年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	53,512,800					53,512,800
	交付金額	50,837,000					50,837,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 石川図書館・歴史民俗資料館で勤務している職員に対しアンケートを実施。アンケート調査でも、雨漏りが改善され、環境改善が図られたと評価された。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を、事業完了後に以下の方法により周知を行った。 ・ホームページへ掲載済（6月掲載） ・広報誌へ掲載済（6月号掲載）</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した図書館運営のため、当該施設を適切に管理していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	上江洲塩屋線外1線道路整備工事（整備工事）						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市字上江洲地内						
補助事業の成果の目標	<p>本事業区間は、地域住民の生活道路として使用されているが、道路幅員が狭隘な区間があり離合困難な状況である。また、側溝未整備箇所では、降雨時の路面水が道路隣接地へ流入している状態である。このことから、本事業により狭隘部の道路拡幅及び側溝整備を行い、道路通行の安全性・利便性の向上及び隣接地への雨水流入を防止することで、地域住民の生活環境の改善を図るものとする。</p>						
補助事業の内容	<p>調査設計業務（実施設計、用地測量）一式 用地買収 A=26.72㎡ 2筆 道路整備工事L=121m（上江洲塩屋線L=52m、上江洲5-10号線L=69m）</p>						
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和5年度						
事業費及び交付金額		令和3年度まで	令和4年度まで	令和5年度			計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	5,794,800	902,000	17,563,280			24,260,080
	交付金額	4,895,000	902,000	15,973,000			21,770,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、地域の生活環境改善を図ることができた。本事業完了後、地域にアンケート調査を実施したところ、道路及び排水路を整備することにより交通の安全性が向上し、また快適に通行できるようになったと回答が多数あったことから本事業の成果目標を達成できたと評価する。</p> <p>地域住民に対し、特定防衛施設周辺整備交付金による事業である旨を以下のように周知する。</p> <p>地域住民への周知：1) 市ホームページへ掲載。 2) 市広報誌に掲載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>地域住民アンケートより、上江洲塩屋線においては本事業の延伸要望があったことから、引き続き地域と調整を行い生活環境の改善を図りたい。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	中学校机・椅子追加更新事業					
補助事業者名	うるま市長					
実施場所	うるま市地内					
補助事業の成果の目標	<p>うるま市では、児童生徒用机・椅子の老朽化が進んでおり、中学校においても老朽化が目立っている。</p> <p>本事業は、市内中学校を対象に、机・椅子更新をすることにより、生徒の学習意欲の向上を目的とする。</p> <p>なお、更新対象となった学年で比較的新しい机・椅子は、他学年の老朽化したものと交換をして活用をする。</p>					
補助事業の内容	生徒用机 688台 生徒用椅子 688脚					
補助事業の始期及び終期	令和5年度					
事業費及び交付金額		令和5年度				計
		円	円	円	円	円
	事業費	15,559,808				15,559,808
	交付金額	15,300,000				15,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 机・椅子更新後の変化について各学校へアンケート調査を実施したところ、以下の回答が得られたことから、本事業の成果を得られたと評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机・椅子の高さ調整で生徒の体格に合うよう調整できるようになったため学習にも集中できるようになった。 ・机の天板に穴があり、プリントに文字を書く際、紙が破れてしまうことがあったが、今は安心して学習に取り組めるようになった。 ・以前は古い机・椅子で制服が破れたり、怪我をすることがあったが、机・椅子の更新後は無くなり、安心して学習できる環境が整った。 ・高さの揃った机でグループ活動ができるようになり、グループワークの際PC端末を積極的に移動して生徒同士見せ合ったりするなど、以前より学習活動が活発になった。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市ホームページ令和6年7月掲載 2) 広報誌令和6年7月号に掲載 3) 「令和5年度特定防衛施設周辺整備調整交付金」と記載したシールを貼付済 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した机・椅子を適切に管理していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	うるま市総合アリーナ整備（基本設計）								
補 助 事 業 者 名	うるま市長								
実 施 場 所	うるま市具志川								
補助事業の成果の目標	<p>具志川体育館は、昭和56年に供用開始されて以来、スポーツ振興の場として多くの市民に利用されているが、現在は老朽化が進行している状況である。</p> <p>また、多様化・高度化しているスポーツ環境のニーズに対応し、かつ市民の健康増進や地域経済の活性化に資するとともに、防災機能を有した総合アリーナを整備するため、基本設計を行う。</p>								
補 助 事 業 の 内 容	うるま市総合アリーナ整備								
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和5年度								
事業費及び交付金額			令和4年度	令和5年度				計	
	基金造成額	交付金額	円	円	円	円	円	円	円
		市町村費等	0	0					
		運用益	0	0					
		計	15,587,000	5,000,000					
	基金処分類	0	20,587,000					20,587,000	
	基金残額	15,587,000	0						
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業において、多様化・高度化しているスポーツ環境のニーズに対応し、かつ市民の健康増進や地域経済の活性化に資するとともに、有事に備えるため防災機能を有した総合アリーナの整備計画を取りまとめることが出来たことから、本事業による成果が得られたと評価した。</p> <p>地域住民に対し、本事業が特定防衛施設整備調整交付金による事業である旨を以下のとおり周知した。</p> <p style="margin-left: 40px;">1) 市ホームページに掲載（5月） 2) 市広報誌に掲載（6月号）</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	市民スポーツの振興・健康増進等に寄与するための総合アリーナの整備を促進する。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事 業 評 価 書

補助事業名	消防特殊自動車購入事業												
補助事業者名	うるま市長												
実施場所	うるま市具志川消防署												
補助事業の成果の目標	<p>本市消防本部に配置している大型高所放水車（水路付きはしご消防自動車）及び救助工作車は、市内で発生する火災の消防活動等に使用しているが、老朽化による修繕、故障が度々生じていることから、消防活動や救助活動に支障をきたす恐れがある。</p> <p>このため、老朽化した大型高所放水車（水路付きはしご消防自動車）及び救助工作車の更新を行うことで、安全・安心に消防活動できる環境を維持する。</p> <p>（参考指標） ・年間修繕件数：2件 （過去の修繕件数44件） ※はしご消防自動車については、平成27年度に1回目、令和2年度に2回目のオーバーホール実施</p>												
補助事業の内容	救助工作車 1台												
補助事業の始期及び終期	令和4年度 ～ 令和5年度												
事業費及び交付金額		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	
	基金造成額	交付金額	円 54,607,000	円 74,616,000	円 100,328,000	円 36,688,000	円 17,331,000	円 41,047,000	円 23,044,000	円 28,800,000	円 1,000,000	円 6,592,000	円 384,053,000
		市町村費等											
		運用益	0	39,227	252,858	238,249	220,102	157,505	0	0	0	0	907,941
		計	54,607,000	74,655,227	100,580,858	36,926,249	17,551,102	41,204,505	23,044,000	28,800,000	1,000,000	6,592,000	384,960,941
	基金処分額	0										145,090,000	145,090,000
基金残額	54,607,000	129,262,227	229,843,085	266,769,334	284,320,436	325,524,941	348,568,941	377,368,941	378,368,941	378,368,941	239,870,941	239,870,941	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価について】 本事業の実施により、安全・安心に消火活動ができる環境を維持することができた。 また、車両更新後、1年間の故障等の発生はなく、安全・安心に消火活動が安定的に行える環境を維持することができたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域住民への理解を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知。 1) 市ホームページへ掲載済 2) うるま市広報誌へ掲載済（令和6年4月号） 3) 車両へ「令和4年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金」および表示済</p>												
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定した効率的な消防力を維持出来るよう、地域住民の理解を得ながら事業を実施する。												
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し												